

尼崎市文化ビジョン(第2次)(素案)に対するパブリックコメント募集結果

○1人の方から、3件の意見をいただきました。

○寄せられたご意見の概要とそれに対する市の考え方は以下のとおりです。

No.	寄せられたご意見の概要	件数	市の考え方
歴史・文化を受け継ぎ、育てる			
1	<p>尼崎城を歴史文化の象徴として子どもたちが一日中遊べる体験型忍者屋敷として活性化を図ってほしいです。寺町と合わせて観光需要も取り込めるはず。人類の歴史をストーリーで紡ぐ庄下川のランチクルーズなども面白いんじゃないでしょうか。寺町と尼崎城の間の開明町あたりはレトロなテーマ性をもった街づくりを進めることで文化的な価値をさらに高めることになるでしょう。</p>	1	<p>[その他] 尼崎城は、市民が楽しみながら歴史を学ぶ場として親しまれており、お城であるため忍者屋敷ではございませんが、様々な体験ができる展示がございます。 庄下川のランチクルーズの実施は難しいものの、観光局と市内事業者が連携し、船上から工場群を巡った後、釣りやBBQを楽しんでいただける運河クルーズを検討中です。 また、寺町と尼崎城の間の開明町においては文化的な事業の実施を予定しております。</p>
[今回の意見公募の対象としていないもの]			
1	<p>かなみ新地の閉鎖は大変残念なことでした。 尼崎らしい猥雑で活気のある街の奥深さが魅力だったんですが、どこにでもあるような凡庸な街になってしまう危険性があります。園田競馬場やセンタープールからの人の流れも意識して大人の男性が楽しめる街づくりを進めることで経済活動の基盤を強固なものにしてほしいです。</p>	1	<p>[今回の意見公募の対象としていないもの] 本市としては、年齢、性別、障害の有無、国籍などに関係なく、誰もが住みやすいまちにすることが重要だと考えています。 その中で、通称「かなみ」新地については、違法な風俗営業をしているのであれば、直ちに中止するよう求める警告書を警察と市の連名で発出し、全店舗が閉業したものです。 また、まちの魅力づくりについては、各駅(エリア)ごとの特性を活かしたブランディングを推進し、新たなにぎわいや交流を創出するとともに、その取組を効果的に発信していくことに加え、園田競馬場やセンタープールのような既存ストックの活用により多様な主体と連携しながら、各エリアだけでなく、その周辺にもそれを広げていきます。</p>
2	<p>女性向けDV相談は情報が隠蔽されており母親による実子誘拐に加担するともない人権侵害が行われています。 怪しい女性支援や悪徳NPOを行政から排除し、DV行政に関する徹底的な情報開示を進めてクリーンでオープンな文化的土壌を構築する取り組みを期待します。</p>	1	<p>[今回の意見公募の対象としていないもの] DV相談の窓口である配偶者暴力相談支援センターにおいては、男女の性別を問わずご相談をお受けしております。実子誘拐については報道等により認識しておりますが、相談をお受けする際は具体的な状況をていねいにお聞きする中で適切な対応に努めております。 なお、女性支援団体等であることのみを理由に行政から排除することはできず、「怪しい」、「悪徳」の判断については明確な違法行為が認められるなど客観的事実等に基づき判断します。また、情報開示については、尼崎市情報公開条例に基づき適切に開示しております。</p>